

プログラム番号	06073
---------	-------

平成18年度「国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム」

【1. 大学の概要】

①大学名 研究科名	岡山大学 大学院自然科学研究科・大学院環境学研究科			
②学長名	千葉 喬三			
③所在地	〒700-8530 岡山市津島中1-1-1			
④担当者 連絡先	所属部局・職名	自然科学研究科等・学務係長		
	担当者氏名	西山貴志	e-mailアドレス	nishiyama-t@adm.okayama-u.ac.jp
	電話・FAX番号	電話 086-251-8576 ・ FAX 086-251-8580		
⑤ホームページ URL	自然科学研究科	http://www.gnst.okayama-u.ac.jp/		
	環境学研究科	http://ambiente.okayama-u.ac.jp/		
⑥大学院在学留学生数	374人(うち、国費留学生 108人)			

【2. プログラムの概略】

①プログラムの名称	E S Dに基づく留学生特別プログラム
②プログラムの形態	博士後期課程 (3年間)
③実施研究科・専攻	環境学研究科・資源循環学専攻
	(所在地) 岡山市津島中三丁目1-1
④連携大学・研究科・専攻名	環境学研究科・社会基盤環境学専攻 環境学研究科・生命環境学専攻 環境学研究科・資源循環学専攻 自然科学研究科・先端基礎科学専攻 自然科学研究科・産業創成工学専攻 自然科学研究科・機能分子化学専攻 自然科学研究科・バイオサイエンス専攻 自然科学研究科・地球物質科学専攻
⑤受入れ学生数	8人(うち研究留学生優先配置人数: 5人) (うち日本人学生数: 0人)
⑥担当教員数	合計 375人(うち専任: 353人、兼任: 11人、非常勤: 11人)
⑦研究科長(代表者)名	所属部局・職名 自然科学研究科長 / 環境学研究科長
	研究科長名 高田 潤 / 中筋 房夫

【3. プログラムの内容】

(1) プログラムの目的

環境問題は、21世紀の人類社会が直面している最も重要な課題である。日本政府は、世界各国における環境問題への取り組みを先導していくため、2002年のヨハネスブルク・サミットにおいて、ESD (Education for Sustainable Development : 持続可能な開発のための教育) を提唱し、平成18年3月には「我が国におけるESDの10年実施計画」を策定して、ESDの具体的活動を開始した。

岡山大学では、総合大学としての高度な学術機能の集積と21世紀COEプログラムに代表される研究・教育面の特色をふまえて、総合学術スローガンとして「自然と人間の共生」、中期目標として「人間社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」を掲げており、環境学の国際拠点形成を目指している。

岡山地域は、平成17年6月にESDの推進拠点であるRCE (Regional Center of Expertise for ESD, 平成18年5月時点で世界12カ所) に指定されており、わが国における環境学教育を先導する地域となっている。岡山大学においても、ESD推進と国際環境専門家の育成を目的として、ユネスコチェア・プログラムの申請を行っており、平成18年度末を目途として、ユネスコ高等教育局による認証を目指している。

本プログラムでは、岡山大学における環境学の国際研究・教育拠点形成への取り組み、自然科学研究科と環境学研究科における留学生受入実績、ならびに21世紀COEプログラム、魅力ある大学院教育イニシアティブ等の推進実績をふまえて、国連が提唱する「ESD(持続可能な開発のための教育)」に即した、英語による留学生特別プログラム(博士後期課程3年)を実施する。そして、開発途上国を中心とする留学生受け入れによる環境専門家の育成を通じて、国際社会への知的貢献と我が国大学の国際競争力の強化を図る。

(2) プログラムの内容

本プログラムは、大学院環境学研究科と大学院自然科学研究科の博士後期課程を横

断して設置する。このうち、大学院環境学研究科は「文理医融合」という理念の下で設置していることから、留学生は、自然科学のみならず、人文科学、社会科学、医学などの分野も含む学際的な視点から、環境専門家としての教育を受ける。

本プログラムにおける講義・演習・研究指導は、すべて英語により実施することとし、次のⅠ及びⅡの授業科目で12単位以上を修得し、Ⅲの博士論文を作成させる。

Ⅰ. 講 義： 自専攻または他専攻（他研究科を含む）開講科目 10単位以上

Ⅱ. 演 習： 学生の所属する教育研究分野の演習 2単位

Ⅲ. 博士論文： 各指導教員の個別・具体的指導の下に博士論文を完成させる。

（3）募集方法

本プログラムの募集方法、募集対象国、応募資格、学内選考方法等は、以下の通り設定する。

①募集方法

岡山大学と交流協定を締結している大学、留学生受け入れ実績の多い大学、研究機関等を通じて募集するとともに、大学ホームページに募集要項を掲載して募集する。

②募集対象国

世界の各国を対象とする。ただし、環境専門家の育成に重点をおくため、環境問題が深刻化している開発途上国からの留学生受け入れを優先的に考慮する。

③学内選考方法

書類審査（入学志願書、研究計画書、卒業証明書、成績証明書、推薦状、英語能力証明書（TOEFL等））により行う。